

## 令和2年度 第1回学校関係者評価委員会 議事録

日 時：令和2年10月29日 14:00～15:00

場 所：5階カンファレンスルーム

出席者：学校関係者評価委員 A 高等学校管理者  
B 看護職能団体代表  
C 看護学科実習施設管理者  
D 介護福祉学科実習施設管理者  
E 看護学科保護者  
F 介護福祉学科保護者

学校教職員H～M 書記：看護学科教員

欠席者：G 介護福祉士職能団体代表

### 1. 校長挨拶

令和2年度、新型コロナウイルス感染拡大により、日常生活、社会生活、学校生活において変化が求められる。昨年度3月から卒業式や入学式などの行事も縮小している。入学式後も1か月の休校、オンラインによる授業の実施を経て、現在3密を避けた感染対策をしたうえでの授業を実施している。実習においても、各施設に協力をいただきながら、学内実習も含め実習目標の達成に向けて取り組んでいる。アフターコロナの時代に沿いながら、学生が希望する学校生活を送れる学校を目指すために、忌憚のないご意見を頂きたい。

J：資料の確認 レジюме・資料Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，

### 2. 委員自己紹介

### 3. 議事

議長A（学校関係者評価委員長）

#### 【議題】

（1）2019年度専門学校YICグループ学生アンケートに関する調査結果・・・資料Ⅰ

I：資料Ⅰをもとに説明した。

質疑応答なく、議題（1）について、全員一致で承認した。

（2）2020年度入学生アンケート調査結果・・・資料Ⅱ

I：資料Ⅱをもとに説明した。

質疑応答

B委員：学生（高校生）の進路志望を決める時期は高校3年生の夏が多いとの結果であるが、看護協会は小学生・中学生から看護師を目指してもらう取り組みをしている。看護師は不足することが予想されている。看護師になるシステムは難しく、進路指導の先生に説明するなどして准看護師ではなく早い時期から看護師を目指してもらいたい。看護師も4年制大学での教育が望まれている。早い時期から資格を意識することで学校生活も充実するのではないだろうか。早い進路決定をしていただく取り組みをしてほしい。

I：本年度は行えていないが、毎年高校の進路指導の教員に向けて看護師と准看護師の違いや進路について説明会を行っている。

K：病院見学や自己・家族の入院などにより、働く看護師と接した体験、家族に看護師がいること等から看護師を目指す学生が多い。

B委員：今年はナイチンゲール生誕200年であり、看護の日の記念行事など協会も病院での体験を広く求めている。

M：介護でも県の取り組みの中で、出前授業を小学校・中学校に行っている。しかし、介護士にあこがれる生徒がいても福祉関係の高校がみえづらいのでどう選択したらよいかかわからず選びにくい様子がある。

B委員：介護も看護も人手不足の現状は、同じである。看護、介護が連携して頑張っていけないといけない。

K：新型コロナウイルス感染拡大の影響で看護職を避ける人もいるかと思ったが、頑張って看護師が働く姿をみて看護師を目指す生徒もいる。在校生も同じで、頑張っている。

C委員：パンフレットの入手方法についてだが、病院においてあるパンフレットがすぐに無くなったり、パンフ

レットの入手方法について病院に直接電話があったりして需要が高い。近隣の施設についても問い合わせを受けることもある。インターネットが普及した時代でも、案外見ていない。パンフレットは、病院や施設を積極的に活用するとよいのではないか。病院でも協力していきたい。

D 委員：介護施設としても介護のカッコよさをアピールしていきたい。介護事業所も増えていろいろな働く場があるが、正しい介護の魅力が伝わっていない気がする。職員には、プロとして専門知識をもった専門職としての意識を持つように指導をしている。タブレットを使用した記録を取り入れ、実際に利用者の介護レベルが改善したとか利用者に向き合う時間が増えたとかカッコいい面がある。正しく評価されていないと思う。

A 委員：高校の立場から考えると、小学生からのあこがれは強く残るが、中学校、高校と進むにつれて現実的になる。生計を立てていけるか、職業として続けていけるかなどを考えるようになる。高校でも、新型コロナウイルス感染拡大にともない、オープンキャンパスが開催できるか、できないかという状況に悩みながらも1回行えた。一人ひとり顔を合わせて、対面で行うのとインターネットを使ったものでは違う。ホームページなどでは細かい情報を見ていないと思う。これから、状況は変わり今の学生の意識が5～10年後に反映されてくる。対人関係の仕事は、志が如実に表れる仕事である。

H ：介護現場で実際にICTをどのように活用されているか、お伺いしたい。

D 委員：自施設では、介護記録を開示している。家族にID、パスワードを伝えて動画や写真、記録が見られるようにしている。家族にも好評で、家族の反応は職員のモチベーションにつながっている。時間がある時にコミュニケーションをとるのではなく、いつもコミュニケーションをとることにつながっている。他にも、利用者には活用できていないが、コミュニケーションロボットを取り入れている。誕生日には、「おめでとうございます！」と言ったり。やれること、使えるものは何でも活用して職員が足りないところを補っている。人が好きな人がする職業だから、その時間が持てるように工夫をしている。

議題（2）について、全員一致で承認した。

### （3）令和2年度重点項目進捗状況・・・資料Ⅲ

I ：資料Ⅲをもとに説明した。

質疑応答なく、議題（3）について全員一致で承認した。

### （4）その他

特になし

J ：今年度、次回の会議は、年明けの2月頃を予定している。